

遠野 まごころネット：個人参加ボランティア(体育館組?日帰りも) ニュース

2011.5.25(水)

第26号

編集責任 水野

# よりそう



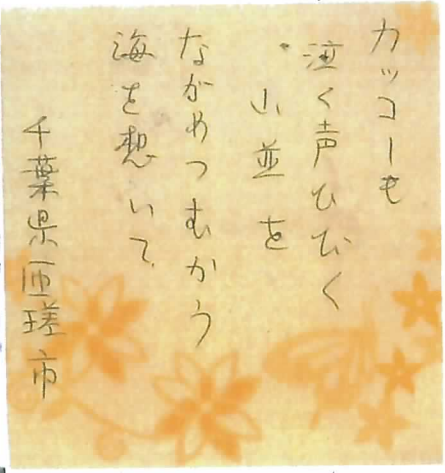
(5/25 (水)の宿泊:146人、活動:186)

## 思い出のアルバム、その後

大槌で お預りしていたアルバムを一定の洗浄や整理をすることができました。明日も依頼者にお返しに行きます。少し胸がドキドキしています。試行錯誤、手探りの連続でしたが、いろいろな方々から貴重なアドバイスをサポートをいただき、作業を進めることができました。ありがとうございました。

この取り急ぎ目を通し、一枚の写真が語りかけてくれるものの大きさを思い知りました。

(写真整理班)



千葉県匝瑳市

5/26 (木) 天気 晴れ

気温 9 ~ 20℃

降水確率 0 ~ 10%



## もっと“よりそう” (原川)

本日(25日)大槌町のあるお宅の手伝いに行ってきました。

班長さんが依頼者の方と挨拶をして作業を始めました。ひとつ提案したく思いましたので書きました。

せわしの「よりそう」です。依頼者もどんな所から来た人達なのかかわると、勇気づけられることもあり、音、旅行へ行、たことがあるほど、お話をきかづにたりやすく思います。

またメンバーも初対面同士の多く、同郷だとなりに居ることもあり、会話がマアツにたります。

作業を始める前に〇〇県〇〇ですと、自己紹介から始めたい

## 疲れにくいスコップの使い方《その2》

昨日の続きです。続けて掘っていくわけですが、次にスコップを刺す位置は前の穴の手前(!)です。どのくらい手前は、土の状況で違いますが、大槌のヘドロだと10センチくらいです。この位置にまた体重で刺すようにスコップに乗ります。次のステップ、テコで土と地面の縁を切る動作の時、乗るのです。前方は穴で、糸計が土がなく、掘り取る土だけに力をかけられるからです。

このようにして、手前へ手前へと溝状に掘ります。自分は後ろへ後へとさがりながら掘ることになります。そのついで最初の位置を決めておく必要があります。幅が欲しい時は、その溝を2列にすることをイメージして、左右交互に掘りながら、同じように後ろへさがっていきます。

深さが欲しい時は、必要幅を掘ったあと、そのまま同じ溝を穴の中で繰り返します。深さを表すは1(ひと)スコップ、2(ふた)スコップと表現します(地域性があるかも知れない)。2スコップは1尺くらいです。

うすい土の層をささう時や、重いものを持ちあげるためにテコとして使う時などは、また違う使い方をしますが、この辺は現場でご説明したいところです。

## 〜お知らせ〜

- ★ 漂流物も持ち主有り。
- ★ あなたの長ぐつもリサイクルへ。
- ★ 被災地では蚊が発生、要注意!!
- ★ NHKテレビ取材 26 ~ 28日、放送は6月6日予定。

★5/26(木)ボランティアミーティングはPM5:30~@体育館

まごころ種 募集

くわしくはHPへ

編集担当者 阿部・金野・筒井・星野・水野